

大阪府支部だより

山川智之

大阪府下には大阪透析研究会と大阪透析医会の2団体があり、大阪透析研究会は主に学術団体として活動、大阪透析医会は日本透析医会大阪府支部として活動、ちょうど日本透析医学会と日本透析医会と同様の関係で緊密な連携をとりながら活動しています。

歴史的には昭和49年3月に大阪透析研究会が発足し、その後、医療費、行政、患者会、医師会関係などを担当する組織が必要になり、昭和55年に大阪府私立病院協会透析部会が結成されたのが大阪透析医会の前身です。部会長・藪本秀雄（敬称略・以下同様）、事務局長・山川眞、顧問・前川正信、また役員には大阪透析研究会の役員が併任という形でスタートしました。実際には私立病院だけでなく、公的病院、診療所の先生にも活動していただく必要があり、昭和63年3月27日に私立病院協会を離れ、大阪透析医会が設立され、初代会長として前川正信が就任しました。平成8年10月29日には大阪府医師会医学部への加盟が認められ、会員も増え、現在は施設会員211施設、個

人会員157名、賛助会員3名となっております。

大阪透析医会の会長は、前川正信から飯田喜俊、小野秀太と引き継がれ、平成22年より私山川が会長となり、現在4期目を務めております。大阪透析医会の今期役員は表1にお示しします。私立病院・診療所の代表者を主体としながら、公的病院、および大阪府下の5大学からのご理解いただきご参加いただいております。委員会については、平成18年に委員会を再編し、五つの主たる委員会（経営・医政、保険、透析者支援、災害対策、感染・事故対策）、および総務委員会、倫理委員会の合計7委員会としており、現在もその構成を踏襲しております。

委員会活動とは別に大阪透析医会は4月に総会と講演会、7～8月、11月の2回学術講演会を開催しております。最近の講演内容を表2にお示しします。透析室のスタッフを中心に毎回200～300人程度の参加があり大変人気を博しております。また毎年10月には大阪腎臓病患者協議会（大腎協）と意見交換会を開催

表1 大阪透析医会役員（平成28～30年）

会 長	山川智之
副会長	岡田茂樹、東 勇志
常任幹事	井上 徹、大野卓志、大山 哲、岡村幹夫、河村裕憲、北川慶幸、小角幸人、阪口勝彦、佐藤利行、柴原伸久、長沼俊秀、三上裕司、矢嶋伊吹、和田 晃
監 事	田畑 勉、仲野 孝
幹 事	有馬秀二、猪阪善隆、稲葉雅章、今田崇裕、岩谷博次、榎本康博、大道武史、岡崎修治、金原裕則、岸田 堅、榊原敏彦、清水秀和、陣内浩喜、菅原 照、杉本俊門、武本佳昭、谷下人氏、時実孝至、仲谷達也、西川慶一郎、西川光重、長谷川廣文、林 晃正、前 暢子、三上聡司、水谷洋子、宮野元成、安田英煥、横山建二、吉原秀高、淀井省三、渡邊太郎
顧 問	今田聰雄、小野秀太、岸本武利、茂松茂人、西澤良記

表2 大阪透析医会講演会一覧

(敬称略)

2010/11/20	透析患者の循環器合併症について 民主党の社会保障制度と医療政策	長谷弘記 (東邦大学) 梅村 聡 (参議院議員・医師)
2011/4/9	現場からの医療改革	上 昌広 (東京大学医科学研究所)
2011/7/23	東日本大震災における透析医療者の連携 いま、社会保障政策の周りで何が起きているのか	山川智之 (仁真会白鷺病院) 権丈善一 (慶應義塾大学)
2012/1/28	東日本大震災における災害時医療の特徴と今後の課題 腎性貧血治療のこれから	宮崎真理子 (東北大学) 平方秀樹 (福岡赤十字病院)
2012/4/28	透析療法の社会的価値を説明する時代へ	田倉智之 (大阪大学)
2012/7/28	透析スタイルについて再考する —長時間透析から在宅血液透析まで— 経営の改善は医療の質改善から ～CQI 推進派世界の潮流～	坂井瑠実 (坂井瑠実クリニック) 小松康宏 (聖路加国際病院)
2013/1/26	透析看護師たちの果てしな戦い —患者の治療的ケアを促す看護の力— 愛ある透析医療への展望	内田明子 (聖隷佐倉市民病院) 政金生人 (清永会)
2013/4/20	医療・社会保障政策を巡る昨今の話題	梅村 聡 (参議員議員・医師)
2013/7/20	大動脈弁石灰化から考える CKD-MBD 治療 個別化医療を目指す最先端医療の潮流と被災地復興計画	常喜信彦 (東邦大学) 清元秀泰 (東北大学)
2014/1/25	長時間透析 在宅透析について	前田兼徳 (医療法人社団 兼愛会 前田医院) 鈴木洋通 (埼玉医科大学 腎臓内科)
2014/4/19	腎不全の総合医療をめざして	水口 潤 (医療法人 川島会 川島病院) (日本透析医学会会長)
2014/7/28	CKD-MBD の発症機序・病態・対処法 医師・プロボクサー・被災地ボランティア・農業 ～動いて、見て、感じたこと～	永野伸郎 (医療法人社団日高会 腎臓病治療センター研究 統括部長) 川島 実 (気仙沼市立本吉病院 嘱託医)
2015/1/31	コミュニケーションや！と言うけど ～患者の心理と医療者に求められること～ 個別化腎不全 ～診療に必要な視点～	水内恵子 (安田女子大学看護部看護科 成人看護学 准教授) 石橋由孝 (日本赤十字社医療センター 腎臓内科部長)
2015/4/25	地域医療構想と専門医制度改革	梅村 聡 (前参議員議員・医師)
2015/8/1	ベットサイドから考える高齢者の透析療法 国際的前向き観察研究 DOPPS の意識とその展望 ～貧血管理と透析患者の高齢化について考える～	伊東 稔 (医療法人社団 清永会 矢吹病院 副院長) 花房規男 (東京大学医学部附属病院腎疾患総合医療講義講 座 特任准教授)
2016/1/30	透析医療と医療安全～医療事故調査制度も踏まえて～ バスキュラーアクセストラブルの診断と治療	小島崇宏 (大阪 A&M 法律事務所 医師・弁護士) 春口洋昭 (飯田橋春口クリニック院長)
2016/4/30	透析療法の進歩と展望	武本佳昭 (大阪市立大学医学部附属病院人工腎部病院教授)
2016/8/1	透析医療における死生観と笑い ～あなたの勤める透析室は癒しの環境ですか？～ 腎性貧血治療 ～私見～	伊藤孝史 (島根大学医学部附属病院 腎臓内科) 平方秀樹 (福岡腎臓内科クリニック院長)

しております。

最近の大阪透析医会の活動としては、まず行政との災害対策についての協議があります。平成27年3月に大阪府健康医療部保健医療室の担当者を訪問、東日本大震災等の経験を踏まえ、①災害発生時の情報共有、②災害時インフラの確保、③患者移送に対する配慮、④被災患者受け入れ体制について、の4項目について要望しました。すぐに対応できないこともあるが努力

するというお答えをいただきました。平成28年4月に発生した熊本地震のさいには、災害時の情報共有をしっかりといただき行政として対応していただいたとの報告がありました。

また平成26年、27年度の、大阪府による大阪府医師会に委託した「HIV感染者の多様な医療ニーズに対応できる地域医療体制構築事業」に大阪透析医会が協力する形で参加、平成27年3月に「HIV地域医療機

関研修会」を実施，また大阪透析医会の施設会員にアンケート調査を行い HIV 陽性透析患者の安全な受け入れ体制の整備を行いました。

大阪府下には2万人強の透析患者がおられます。この府下の透析患者さんのためにも，これまでの大阪透

析医会の伝統と実績を引き継ぎ発展させ，大阪の透析関係者が力を合わせ日本の透析医療の大きな力になれるよう微力ながら努力する所存です。今後もよろしくご指導，ご鞭撻のほどをお願いします。